

カリキュラム

修了要件単位数 95単位

必修科目72単位

選択必修科目23単位

(平成22年度入学生

必修科目72単位

選択必修科目23単位

)

必修科目	法律基本科目群	<p>実定法基礎科目 35単位必修</p> <p>公法・民事法・刑事法の基礎的・体系的知識の獲得と、法的思考能力の養成 (講義＋多方向的な討論)</p>	<p>憲法Ⅰ-1[人権]②、憲法Ⅱ[統治]②、行政法Ⅰ②、行政法Ⅱ②、 民法Ⅰ[総則・物権総論]②、民法Ⅱ[担保物件]②、民法Ⅲ[債権総論]②、民法Ⅳ-1[契約法]②、民法Ⅳ-2[契約法]②、 民法Ⅴ[不法行為・不当利得法]②、民法Ⅵ[家族法]②、 商法Ⅰ[企業組織法]②、商法Ⅱ[企業法総論・企業活動法]②、民事訴訟法Ⅰ③、 刑法Ⅰ[総論]②、刑法Ⅱ[各論]②、刑事訴訟法②</p>
		<p>実定法発展科目 26単位必修</p> <p>領域科目：公法・民事法・刑事法の各領域につき、その法律問題について応用的・ 展開的な法知識と総合的な解釈能力を取得 (講義＋多方向的な討論)</p> <p>総合演習科目：すでに獲得された法知識と総合的な解釈能力の確実化 (事例問題を用いた多方向的な討論)</p>	
選択科目			<p>憲法最新判例研究Ⅰ①、憲法最新判例研究Ⅱ①、民事法最新判例研究①、 刑事法最新判例研究①</p>
必修科目	法律実務基礎科目群	<p>法務基礎科目 5単位必修</p> <p>法曹に必要な基礎的スキルの習得 (講義＋演習)</p>	<p>法情報処理①、法律文書作成Ⅰ①、法律文書作成Ⅱ①、 法曹倫理Ⅰ①、法曹倫理Ⅱ①</p>
		<p>法務展開科目 6単位必修、2単位選択必修</p> <p>訴訟実務に関する具体的問題を通じて訴訟による紛争解決手続の全体像を理解 (講義＋多方向的な討論＋ロールプレイ)</p>	
選択必修科目	基礎法学・隣接科目群	<p>基礎法学・隣接科目 4単位選択必修</p> <p>実定法とは異なる角度からの法現象の知見の取得による法律家としての教養の涵養 (講義＋多方向的な討論)</p>	<p>選択必修：民事訴訟実務の基礎Ⅱ①、刑事訴訟実務の基礎Ⅱ①、 ロイヤリングⅠ①、ロイヤリングⅡ①、リーガルクリニック①</p> <p>法哲学①、英米法①、EU法①、法史学①、公共政策①、立法学①、刑事政策①</p>
		<p>展開・先端科目 17単位選択必修</p> <p>先端的・応用的法分野についての専門知識の修得 (講義＋多方向的な討論)</p>	